

国際CIO学会 会員各位殿

【国際CIO学会ニュース・レター 2007年第10号】

国際CIO学会会長

小尾敏夫

Index

1. 11月22日秋季研究発表大会及び講演会成功裡に終了
2. ワセダCIO声明を発表
3. 2007年度活動報告
4. 第3回CIO学会研究大会・総会—東大本郷 2008年3月18日開催—発表論文募集
5. ベトナム国際CIO学会創立大会 2008年1月21—23日参加募集
6. CIO学 東京道出版より発刊

1. 11月22日(木)度国際CIO学会秋季研究大会及び講演会成功裡に終了

早稲田大学西早稲田キャンパスで開催されました。下記に報告いたします。参加者は午前の研究発表会に70名、午後の講演会に210名、夜の懇親パーティーに130名と大勢になりました。マスコミも、日経新聞、ITメディア、アスキー、科学新聞、日経BPなど9社が取材に来ました。紙面を借りまして、発表者、討論者、講演者、協力団体に感謝いたします。

2007年度国際CIO学会秋季研究大会・CIO講演会

2007年11月22日(木) 午前10時40分～午後7時30分

於 早稲田大学本部キャンパス

(第1部国際会議場3階会議室、第2部小野記念講堂、第3部大隈会館3階)

<第1部> 研究発表会

10:40 国際CIO学会会長挨拶 小尾敏夫

➤ **第1分科会** 国際会議場 第1会議室 座長 工藤裕子中央大学教授

① 10:45-11:10 発表者 白光泰 京都情報大学院大学 他

「ITスキル標準を軸としたERPコンサルタント教育の一考察」

討論者 牧野兼明 NTTデータ経営研究所 ディレクター

② 11:10-11:35 発表者 神岡太郎 一橋大学教授

「ビジネスイノベーションにおけるCIOの役割モデル」

討論者 小野哲 長崎大学経済学部 准教授

③ 11:40-12:05 発表者 田中雅人 NTTデータ課長代理

「中小企業におけるITマネジメント」

討論者 岩崎尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所 次長

④ 12:05-12:30 発表者 後藤玲子 茨城大学准教授

「電子行政の測定フレームワークと成熟度モデル：グッド・プラクティス分析に基づく提案」 討論者 小尾敏夫 早稲田大学教授

- **第2分科会** 国際会議場 第3会議室 座長 石川雄章 東京大学 特任教授
- ① 11:00-11:25 発表者 福原英之 ネットワンシステムズ 他
「メッセージング・ネットワークを用いた地方公共団体システムの疎結合統合化」
討論者 内田勝也 情報セキュリティ大学院大学 教授
- ② 11:25-11:50 発表者 平本健二 電気通信大学/フューチャーアーキテクト
「CIO コアコンピタンスを利用した CIO 評価と育成」
討論者 坂田淳一 東京工業大学特任准教授
- ③ 11:50-12:15 発表者 南波 幸雄 産業技術大学院大学 教授
「情報システムアーキテクチャの観点からの情報システムに係る政府調達
の課題」
討論者 高井昌彰 北海道大学 情報基盤センター副センター長/教授
- **第3分科会** 国際会議場 第2会議室
11:00-12:30 「CIO 資格化」「CIO スクール」合同研究会
座長 小尾敏夫 早稲田大学教授
座長代理 淀川高喜 野村総合研究所室長
坂田淳一 東京工業大学特任准教授

<第2部> **講演会** **小野記念講堂**

13:00-13:02 主催者あいさつ **国際CIO学会会長** 小尾敏夫

13:02-14:40 **セッションI 「地域社会との共生」**

講演：(財)地域活性化センター 石田直裕理事長（前総務省行政管理局長）
講演：都道府県CIOフォーラム 川島宏一会長（佐賀県庁CIO）
講演：トヨタ自動車 中井昌幸常務役員
講演：日本アイ・ビー・エム ソフトウェア・エバンジェリスト 石井宏和

14:45-16:05 **セッションII 「会社を変えるCIO」**

モデレータ：日経BP「日経情報ストラテジー」 多田和市編集長
パネリスト：大成建設 木内里美 理事情報企画部長（CIO）
オムロン 樋口英雄 執行役員常務事業プロセス革新本部長
早稲田大学 根来龍之 教授

16:15-17:45 **セッションIII 「IT国際競争力とCIO」**

モデレータ：早稲田大学 小尾敏夫 教授
パネリスト：マイクロソフト 樋口泰行 代表執行役 C00
東京大学 須藤修 教授
BSA 日本担当コンサルタント 水越尚子 弁護士
経済産業省大臣官房審議官 吉崎正弘（IT戦略担当）

<第3部> **国際CIO学会・早稲田大学GITI共催懇親会**

18:00-19:30 『CIO学』・出版記念パーティー

～式次第～

主催者挨拶 国際CIO学会会長・早稲田大学教授
小尾 敏夫 様

来賓挨拶 衆議院議員・元国務大臣（科学技術政策・IT担当）
厚生労働委員長 茂木 敏充 様

来賓挨拶 経済産業省 商務情報政策局長 岡田 秀一 様

来賓挨拶 総務省 情報通信政策局長 小笠原 倫明 様

乾杯 参議院議員・元国務大臣（科学技術政策・IT担当）
自由民主党 知的財産戦略調査会会長 松田 岩夫 様

（ご懇談）

中締め 国際CIO学会副会長・東京大学教授
須藤 修 様 『CIO学』編者代表

研究発表論文は、Webに掲載。

発表者の希望者には、国際CIO学会ジャーナル誌第2号に掲載。

午前（研究大会）、午後（講演会）の様子

（他の写真は<http://www.iac-japan.org/img/album/index2.html> を参照してください）



↑国際CIO学会研究発表分科会



↑講演会パネルディスカッション1



↑講演会パネルディスカッション2



↑講演会会場風景



↑国際CIO学会「ワセダCIOフォーラム」



↑懇親パーティー会場風景

懇親パーティーにて学会役員と来賓

ワセダ CIO 声明

国際 CIO 学会会長 早稲田大学教授 小尾敏夫

1. CIO の社会的および職業的地位の確立を目指し、資格の制度化を提言する。

J-SOX 法の施行に伴い、上場企業及び連結子会社約 3 万社以上に CIO 的ポストの役割の設置が義務付けられる。また行政において、中央官庁のみならず、地方自治体すべてに CIO の活動が電子政府・自治体推進のコアとして重要になる。こうした CIO の社会的認知は、IT と経営の融合を促し、国際競争力強化の要となろう。資格化の方法論は国際 CIO 学会が最終案を作成中だが、国家的資格・準国家的資格・民間資格・あるいは米国同様に大学への付託が考えられる。また、コア・コンピタンスのレベルに応じた段階資格論も有効といえる。

2. 高度 ICT 人材育成を目指し、国家的かつ国際的 CIO 大学院の創設を提言する。

ICT 人材の育成は、情報革命以来の世界的な新技術動向を踏まえ、情報社会の中心的な課題としてその重要性がますます脚光を浴びている。その頂点に立つ CIO の人材育成は、一箇所に集中するよりは、既存の主要大学の専門性を活かした教育ネットワークに基づく専門職的大学院が好ましい。国際社会の緊急なニーズに応えるため、産官学連携による実務面を加味した一年制修士課程プログラム、それも各国人材育成に貢献できる日・英併用コースが妥当である。現在、早稲田大学の CIO コースは 4 年目に入ったが、全国に米国並みの「CIO 大学」ネットワークを創設すべきである。

3. CIO の短期的人材育成のために、CIO エグゼクティブ（実務型）短期プログラムの拡充を提言する。

大学院での ICT 人材育成は、中長期的視点に立つが、CIO 及び CIO 予備軍の実践的な教育訓練研修の機会をより多く提供し、即戦力となるエリート人材を育成することが日本の産業にとって喫緊の課題である。その点、イノベーション、知的財産権などへの CIO の活動が広がっており、そのリーダーシップも求められている。短期コースは早稲田大学などいくつか活動しているが、総合的スクールを期待したい。

4. 電子政府・自治体の推進は、IT 新改革戦略の目標に沿って着実な発展が期待されているが、その推進役は CIO であることを再確認したい。

とりわけ、地方自治体のネックはこの分野の人材といえる。高度 ICT 人材育成には、CIO をはじめとしたコア・コンピタンスに則る計画的なプログラム推進が必要である。電子政府・自治体は行財政改革並びにサービスの質量共に拡充が目標であり、CIO の不足解消は、国家戦略に符号する。場合によっては、中小企業も同じ環境であるが、格差是正と地方分権へアウトソーシング型の産官学連携（e-コミュニティ型）も好ましい。

5. グローバルで学際的な「CIO 学」の確立を提言する。

CIO は、組織において、情報管理、情報システムの統括を含む戦略の立案と執行を主たる任務とする役員であり、変革のリーダーである。国際的な CIO ブームの中で、学問的に世界共通の認識が持てる国際 CIO 学会が、2006 年 1 月に設立された。この学会を拠点にして CIO 学の研究が実際の CIO 活動の支援となることを期待したい。また、CIO の領域の拡大に向け、各国 CIO 学会と連携してグローバル・スタンダードの国際的、学際的視野で新領域の開拓と普及を目指す方向にある。本日「CIO 学」（東大出版会）が学会メンバーを中心に出版されたことは、その布石といえよう。

3. 活動報告 2007 年度国際 CIO 学会活動年表

1	月	23	日	役員会
2	月	26	日	第 1 回「CIO スクール」研究会
3	月	7	日	第 1 回「CIO 資格化」研究会
				CIO 学会ジャーナル誌第 1 号発刊
3	月	23	日	第 2 回全国研究大会・理事会・総会・講演会
4	月	23	日	フィリピン CIO 学会（マニラ）に 4 名派遣
		26	日	インドネシア CIO 学会（ジャカルタ）に 7 名派遣
		27	日	第 3 回「CIO 資格化」研究会
5	月	8	日	第 3 回「CIO スクール」研究会
		28	日	第 4 回「CIO 資格化」研究会
		31	日	タイ CIO 学会大会（バンコク）に 2 名派遣
6	月	4	日	イタリア・イノベーション大臣講演
		18	日	第 5 回「CIO 資格化」研究会
		30	日	役員会・第 9 回「CIO 学」会合
7	月	2	日	第 6 回「CIO 資格化」研究会
7	月	23	日	第 4 回「CIO スクール」研究会
8	月	6	日	第 7 回「CIO 資格化」研究会
9	月	5	日	秋季研究大会発表論文締切
		20	日	「CIO スクール」、「CIO 資格化」両研究会合同開催
10	月	10	日	「学会ジャーナル第 2 号」論文締切
		27	日	米国 CIO 学会（ワシントン）7 名派遣
		31	日	アジア CIO 学会代表者会議・8 カ国参加 （幕張ニューオータニホテル）
11	月	22	日	秋季研究大会（於 早稲田大学）
				「CIO 学」東大出版会より発刊

12	月	17-19	日	APEC/中国CIO学会（北京）1名派遣
----	---	-------	---	----------------------

(2007年1月-12月)

ニューズレター発行〈2007年度〉学会URLに掲載(会計などを除く)

第1号 2月19日 第2号 3月19日

第3号 4月2日 第4号 5月1日

第5号 6月8日 第6号 7月17日

第7号 8月21日 第8号 9月28日

第9号 11月19日

4. 第3回研究大会・総会案内

日時：2008年3月18日

会場：東京大学本郷キャンパス

発表者募集：アブストラクト投稿締め切り 2008年1月8日

採択通知：2008年1月20日

フルペーパー提出 3月3日

募集方法詳細は前回掲載と同じでホームページ参照のこと

5. ベトナム国際CIO学会創立国際会議・視察団募集

ベトナム政府から参加要請有り。

CIO学会会長はDr. ホング情報通信省副大臣(元大学教授)。

名誉会長はDr. ホップ情報通信大臣(元大学教授)。

理事に産官学の代表者40人が名を連ねる強力布陣。

日越ICT経済交流の要にしたいとのこと。

大会は1月22日で前後の日は各界との交流予定。ポストBRICSの筆頭ベトナム出張参加希望者は事務局に連絡を

6. CIO学 東京道出版より発刊

ここ_____からもしくは

学会HP (<http://www.iac-japan.org/>) よりリンク参照

以上